



令和4年の愛西市議会 議員選挙について

神田 康史 議員

投票率は48.93%

総務部長



▲投票時間の弾力化と共通投票所の設置例

問 令和4年4月24日コロナ禍の下、愛西市議会議員一般選挙が行われた。投票所ごとの男女別の投票率及び町村合併(平成17年4月)以降令和4年現在までの投票率の推移は。

答 有権者数は5万1781人で、投票率は48.93%。男女別では男性47.82%、女性49.97%。投票所別では、17投票区の内最低は佐屋3区で、41.83% (男性40.57%・女性43.03%)

最高は八開2区で59.10% (男性59.79%・女性58.46%)だった。なお、平成18年72.48%、22年65.65%、26年57.10%、30年53.40%だ。

問 投票率は低下傾向にある。現在の投票率を改善するためには①投票機の確保と②投票環境の向上に向けた取り組みが不可欠だ。

そこで社会的弱者(身体障がい者・心身障がい者)など、利用実績は代理投票49人、郵便投票3人、不在者投票施設における投票21施設、113人、期日前投票制度は7088人だ。

高齢者等)に対する投票便宜について市はどのように対応しているのか。また利用実績は。

答 投票用紙への記載が難しい場合、職員による代理投票がある。投票所に来られない方の場合、郵便投票の制度活用がある。病院や高齢者施設の入居者等では、不在者投票施設の指定を受け不在者投票ができる。他に期日前投票制度がある。

止体制づくりネットワークの構築費用・施設所有者との調整等だ。

問 投票環境の向上の観点から共通投票所の設置、投票時間の弾力化、利便性の高い商業施設等への期日前投票所の設置問題は。

答 施設の設備やコスト、セキュリティの面で課題がある。例えば不正防